

花育・植育・食育で街を元気に

花育・植育・食育 三位一体の普遍化支援事業
(特に男性を巻き込んで)

潤いのあるガーデニングシティーをめざす市川
どこの家も花と緑 街も花と緑にあふれ、
元気で健康な市川に

TMO アドバンス 講座
(課題テーマ) 倉田



自己紹介

氏名 倉田 和敏
出生地 市川市
成育 文系から理系に転向 電気工学
社会人 鉄鋼制御エンジニアに憧れ 鉄鋼メカ（富士製鐵 広畑）入社
八幡合併後上司移動で北九州 プラントエンジニアリング（新日鉄エンジ）
高炉－冷延処理ライン・石油・化学・環境関連プラント制御システム設計
（海外プラント〈伯・伊・西・蘭・中国〉が過半）
新規事業で東京転勤（北九州－戸畑から東京大田区久が原）
関連会社で海外及び大型水処理プラント関係電気計装設計
（関連会社 転籍後 市川に）
年満後 上記に関連して外注契約 制御システム設計（台湾台中鉄鋼水処理他）
趣味 九州から物価の高い東京へ出てきて 休日厨房
食生活アドバイザー 食育インストラクター（3級）
いちかわ TMO講座 2期 企画担当（市川 真間在住）
NPO 日本食育ランドスケープ協会 活動会員

市民各人のガーデニングの認識が重要

ガーデニング・シティー市川 花と緑にあふれた街作り

どこの家にも花や緑があって それが街全体に繋がる事

花を育て、緑を愛して育てる

花育 植育 基本の柱

市川市民 誰もが花や緑を愛し、育て いくしむ心の持ち主

市川市民 みんなが心豊かになること

(花や木を育てるにはやさしく見守り耐える気持ちも)

心が豊かになること

誰もがより良い人になることが前提

良い人＝食 よって“食育” も一つの柱

(衣食足りて礼節を知る 食足りて心のゆとり)



花育とは

農林水産省が進めるテーマ、

幼少期より花や緑に親しみ・育てる機会を提供したり、
花の楽しみ方を教える

心豊かな子どもたちを育てよう

情操面だけでなく、花や緑を教育・地域活動などに取り入れ、
世代間交流や地域のコミュニケーションを深めることも期待
されている。

「花育」の取り組みは、「花」だけとは限らない。土に触れたり
生長を見守ったり、さらに収穫したものを生活に活かしたりといったこと
全てが「花育」に通じる。こう考えると、「花育」は「植育」とも言い換えられ、
美しいもの、地味で目立たないものといった差こそあれ、
植物を育てていればいつか花が咲きそして、やがて実を結ぶ。
それが野菜や果実であれば、「花育」はそのまま「食育」へと繋がる。



(All aboutのHPガーデニングの紹介より)

食育とは



選食力 食の安全性見抜く 旬のもの 地の物選ぶ

食事のマナー 礼儀 作法 感謝

食料環境への配慮 無駄を無くす 地産地消など

食生活指針

みんなで楽しい食事 規則正しい食生活 主食・主菜・副菜バランス良く

穀類(米)を食べる 野菜・果物・乳製品・豆・魚 食塩・脂肪控えて

活動に見合った食事 食文化・地域の産物 無駄を少なく

食生活見直し

食育 小学校半ばまでにしっかりこの基本身につける

(衣食足りて礼節を知る＝食が足りて心のゆとりが)

食育の推進に関しては市は平成20年度から3年計画を立て推進。

ガーデニング・シティーはそれを土台にとも考えられる

何故男性を強調するか



女性の社会進出による協働(共働き)家庭の増加

男性は旧態然として家事を分担しない

(70%以上の男性は家事に手を出さない事実)

家事の負担が女性に大きくかかってくる。

特に三度の食事にしわ寄せがきて、満たされないことも

心にかげり ゆとりが出ない。

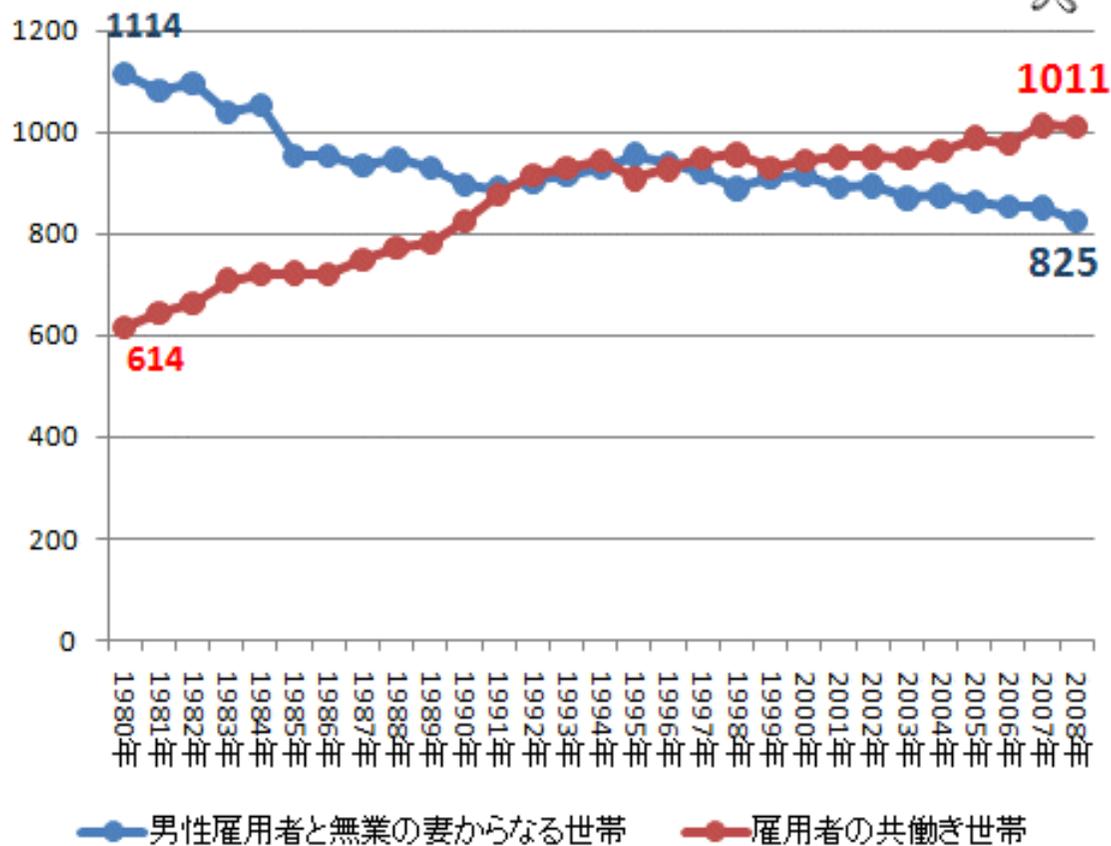
男性が家事を理解し協力する家庭を増やさねばならない。

そこで男性には身近で、おしゃれな 食から入らせ

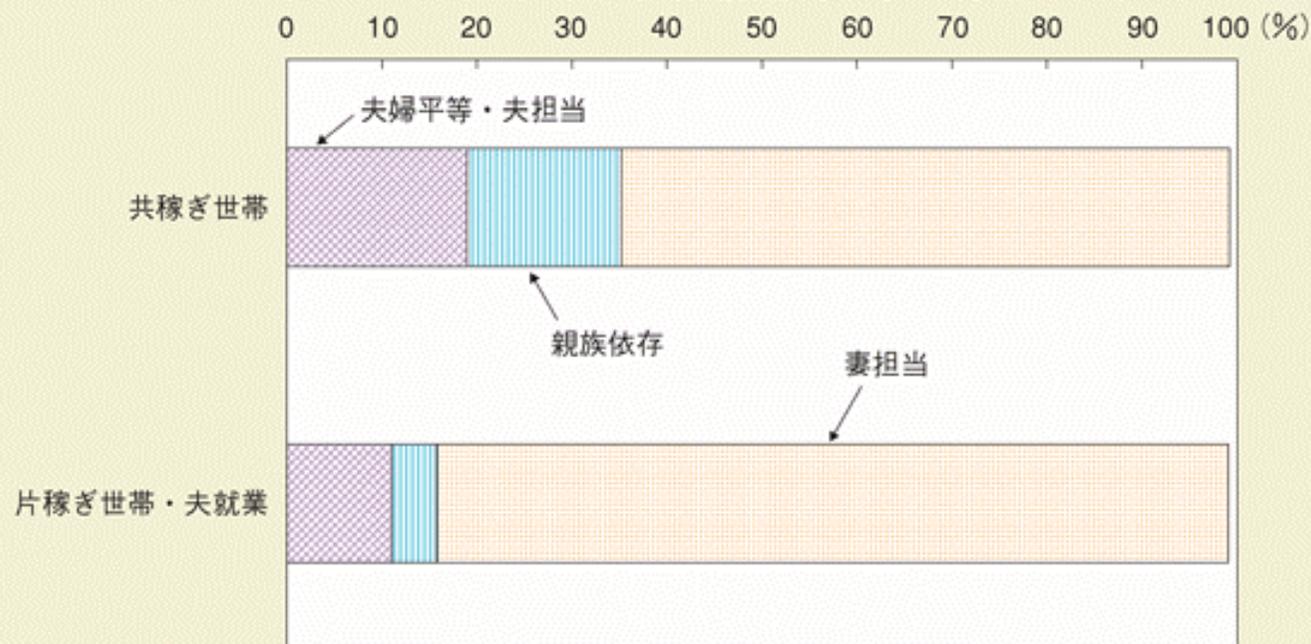
家事の理解をし 積極的に協力 女性負担の軽減

家庭に豊かさを取りもどす。

共働き等世帯数の推移(万世帯)



第2—(3)—7図 世帯の就業構造別家事・育児分担状況



資料出所 (独) 労働政策研究・研修機構「仕事と生活の調和を可能にする社会システムの構築に関する研究—中間報告—」(2006年)

(注) 「夫婦平等・夫担当」、「親族依存」、「妻担当」の用語の説明

夫婦平等・夫担当：家事・育児を行っているのがもっぱら夫であるか主に夫である場合、または、妻と夫がほぼ同等に分担しているか、主に妻が行っているが夫もかなり手伝っている場合。

親族依存：夫婦以外の親族が、家事・育児をもっぱら行っているか主に行っている場合、または夫婦のどちらか他の親族が同等に家事・育児をしているか、親族がかなり手伝っている場合。

妻担当：家事・育児を行っているのが、もっぱら妻であるか、主に妻が行って他の人が少し手伝っている場合。

問題の解決に向けて

従って潤いのある心豊かなガーデニング・シティーいちかわを実現するには下記の対策が必要と考える。

花育・植育・食育の総合的な普及

特に新規流入の新しい世代も交えて



→親子交えての総合的な花育・植育・食育の機会を作る

男性の家事無関心層を減らし 女性の負担の軽減を図る

→料理から導入する男性改造の機会をつくる

従来の目線を越え やさしさ・家族・自然を意識して

花育・植育・食育を進める背景

市川市 大型高層マンションが都市再開発で次々に

新しい家族が市川に増える。

子育て世代が多いはず(30-40代)

心豊かな子どもたちを育くみ 健康な市川を

花育は台所の隅からも行える。 各戸に花が

街は花で埋まるベースが

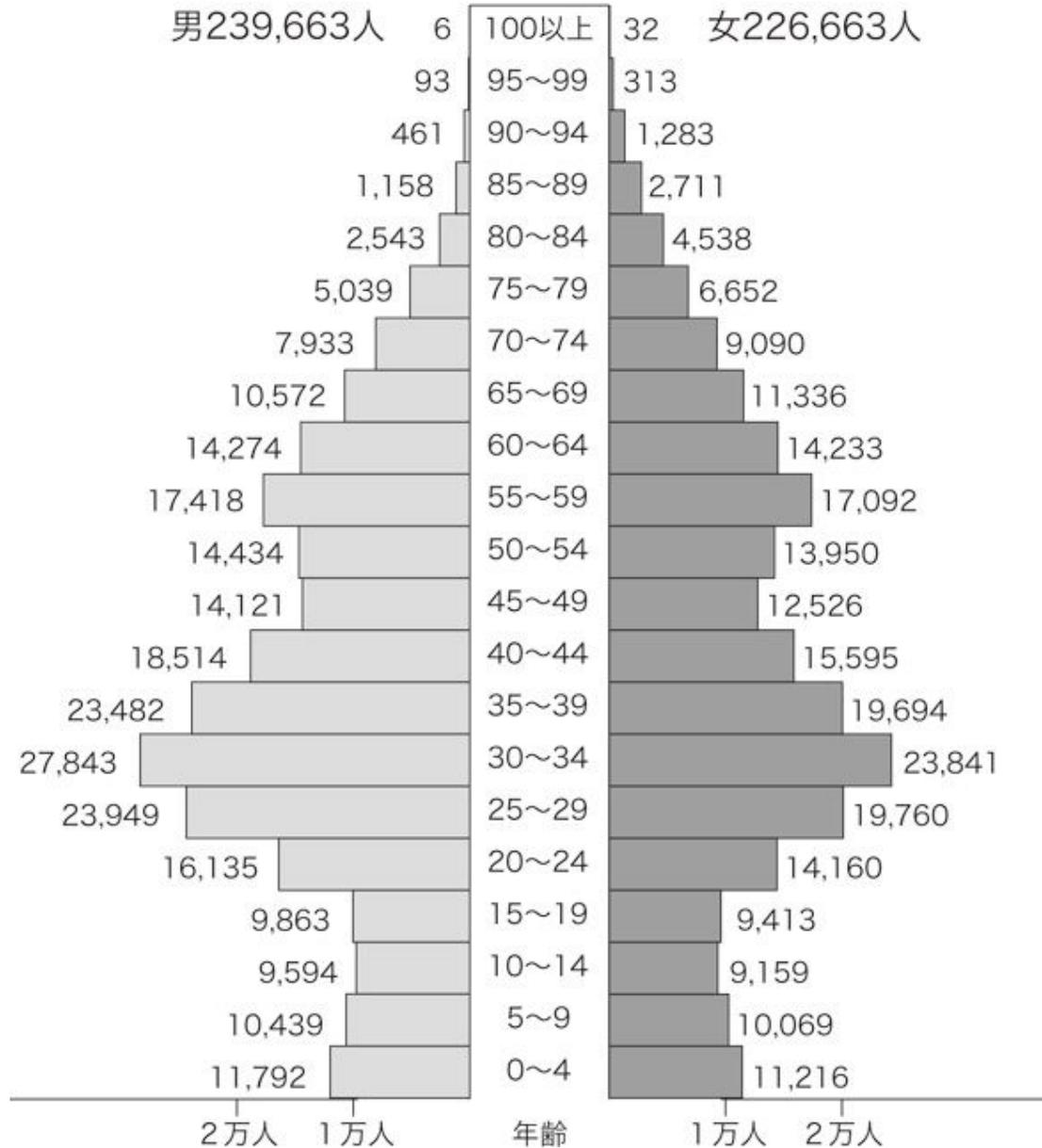
花から野菜やハーブ 更に緑に発展

子育てには食育も大切

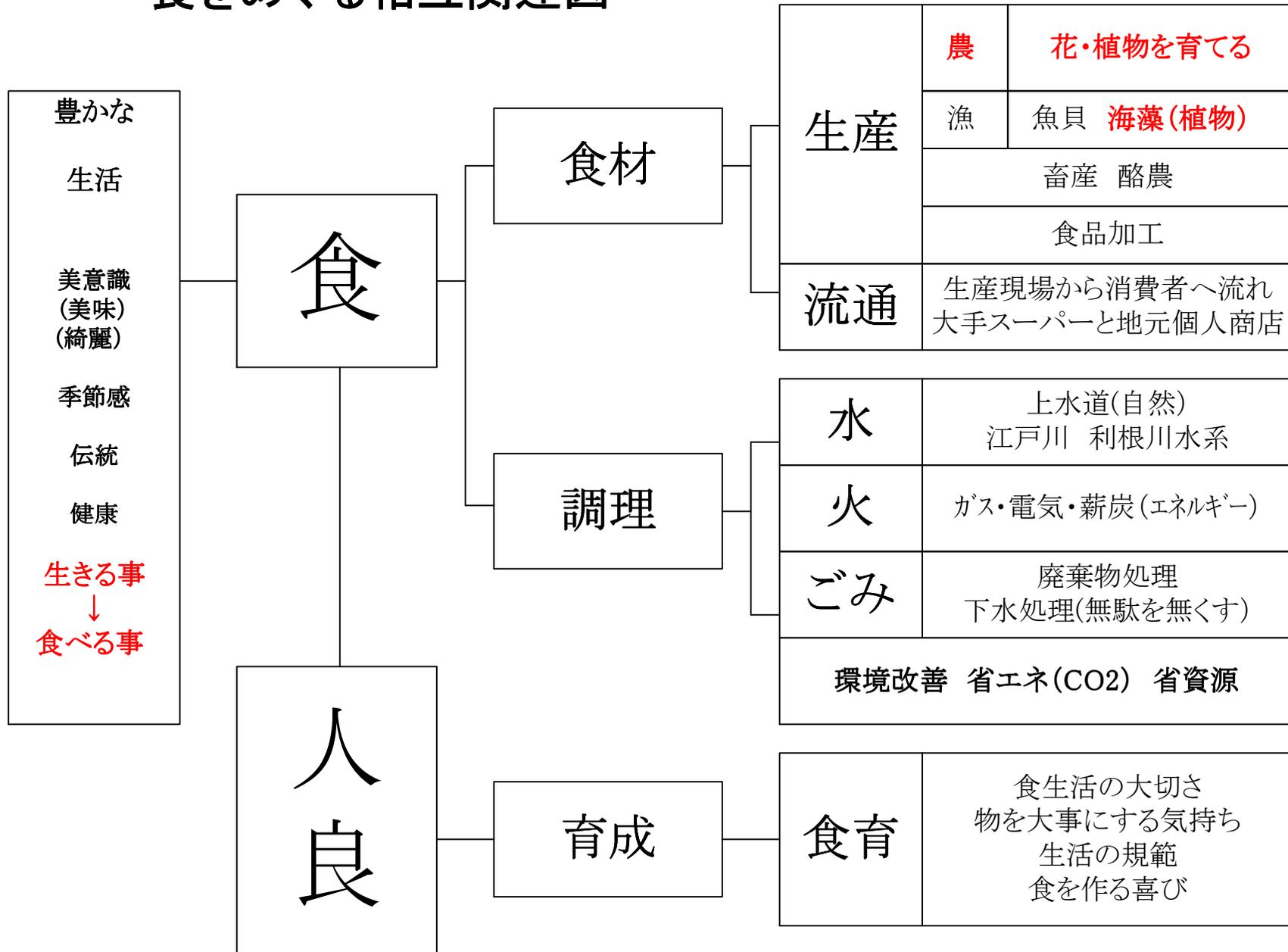
(野菜や魚の多い健全な食生活が健康な子供を)



人口ピラミッド 総人口466,326人 (平成17年9月30日現在)



食をめぐる相互関連図



男性が料理をすることの効用

料理は新たな挑戦で創造的な行為

努力の結果が眼に見える(美味しいと言ってくれたときの喜び)

やさしさが解る(愛情込めないと美味しい料理は出来ない)

細かいところに目が(一手間かけることが美味しい料理に)

栄養 健康 衛生への関心高まる

家族との対話

女性の大変さがわかる。

(買い物は重労働)

(朝一足早く起きて食事の支度)

買い物通じて物価・商店街・近所の状況が解る。



花育・植育・食育の実行方法

親子で“やさしさ育む”講座の実施

親子の参加で一緒に下記のことを学ぶ

手軽に花を育てる(水耕栽培)

プランターで野菜栽培

出来た野菜で食事作り等



花育・植育・食育を組み合わせた親子参加の講座で

手軽に花や植物に 触れ、自然にいつくしみ、

自然の恵みを感じる食事作りで

花に満ちた 心豊かで 健康な家庭の基盤を広める。

やさしさ育む講座の実際

- 周期 月2回程度 3ヶ月程度
- 各回 課題設定（例えば蓬を戸外で摘んで餅作り）
花屋・八百屋・魚屋・ホームセンタに協力依頼
（講師 材料提供依頼）
食関係は食育関連NPOの協力依頼
- 場所 男女共同参画センター 京葉ガスショールーム
市川公民館
- 費用 親子一組 2,000円/回（材料費・賃料含む）
5-8組程度
- 募集 ホームページ（いちかわ TMOからリンク）

男性食育講座の実施

小規模な料理教室を定期的に関く

- ・初級から上級まで3段階に分けて行う
- ・買い物(予算計画含む)から調理 味わうまで
- ・必要に応じ課外活動
(市場見学・上下水・ゴミ処理 等の施設見学)
- ・旬の食材 花言葉

ホームページを立ち上げ啓蒙と講座募集

家事参画の重要性
料理の効用楽しさ
簡単な料理の紹介



料理教室の概要

- 入門 基礎的で簡単な酒の肴 2回
(入り卵 浅漬け 肉豆腐 等)
- 中級 基本的な料理 2-3回
(炒め物 焼き魚 ステーキ 味噌汁
惣菜物の扱い 魚の柵)
- 上級 基本技術 2-3回
(煮物 だしのとり方 魚を捌く 土鍋でご飯を炊く)

男性食育講座の実際

- 周期 月2回程度 初級から上級まで3ヶ月程度
- 各回 4人一組 予算設定 買出しから行う
旬の食材を設定 花言葉も添える。
開始前 食材提供者(生産・流通)との対話
必要に応じ食育関係NPOの協力依頼
- 場所 男女共同参画センター 京葉ガスショールーム
市川公民館
- 費用 2,000円/人/回(材料費・賃料含む)
3-4組程度
- 募集 ホームページ(いちかわ TMOからリンク)

魚が捌ける



一汁三菜の構成ができる



花育・植育・食育実行の付帯効果

1. 地域業者との交流が図られ 地域に目 地産地消
(地域振興に効果が期待できる)
2. 花・植物・食を通じて 自然との関りを認識
(食の関心はすべての分野につながる)
3. 地域の自然保護 改善への関心 高まる
(実行の力に発展すること期待できる)

長いこと御清聴頂き有難うございました。